

歴史の須那  
再発見!

# 那須町と 近代の人々



vol.15



大島鶴太郎(1872-1972)

3月号は、那須町寄居の名士、大島鶴太郎(雅号・雲外)を紹介します。

鶴太郎は、黒羽藩寄居町組名主を務めた大島家に明治5年に誕生しました。弟・仁は、東京で医者として活躍し、仁の娘は柳田為正(柳田國男の長男)と結婚しています。

鶴太郎は、寄居尋常小学校・芦野高等小学校・白河の大原塾(漢学)・英字館(英語)・東京青山英和学校(現青山学院大学)を経て、明治26年に東京帝大農科大学林学科(現東京大学農学部)を卒業しました。

その後、青森大林区署を皮切りに、北海道庁・茨城県・新潟県で25年間官吏として勤め、最後は北海道上川営林区署長となりました。その間、

日清・日露戦争で召集され、日清戦争では乃木希典の部隊に所属し、左足を負傷しています。雲外の雅号は、初唐の詩人・駱賓王「雲隱寺」の漢詩の一節「桂子月中落 天香雲外飄」からきていますが、「鉄砲でうたれても死なないので運がいい」から雲外としたと洒落たことも語っています。

大正7年、父の病氣により官吏を辞し帰郷すると、同13年からは芦野石を扱う石材商を営み、東京へ出荷しました。また、寄居・豊原間の県道化にも尽力しています。

戦後、鶴太郎は平和運動に傾注します。愛媛県の中川千代治が、提唱した「国連平和の鐘」(平和を祈念する人々により寄贈された各国のコインなどを鐘にして、ニューヨークの国連本部に寄贈する運動)に賛同し、自らも日清・日露戦争の従軍徽章や勲章・日本刀を寄贈しました。

昭和28年、国連本部へ出発する鐘の壮行式が行われた際には、一番鐘を梨本宮妃伊都子殿下が撞かれ、二番鐘を鶴太郎が撞きました。国連平和の鐘は現在も国連本部で、春分の日と国際平和デー(9月21日)に撞かれています。今年21日の春分の日には、鶴太郎が願った世界平和を祈念して、今年も鐘の音が鳴り響きます。いち早い停戦と平和を願うばかりです。(左写真は一般社団法人国連平和の鐘を守る会提供)



壮行式写真(正面右が大島鶴太郎氏)



町内の小中学校では、毎年2月の第3週を「命の週間」とし、道徳や学級活動、学校行事等で自他の命を大切にするための授業やイベントを行っています。今回、その中の一つに参加することができました▼前半は町生涯学習課の親学習プログラムが開催され「あなたちが生まれたときのこと」というテーマで出産時のエピソードや思

春期を迎えて変わってきたこと、変わらないことについて話し合いました。破水や早産など予定外の出来事乗り越えた出産時のエピソードは十人十色でしたが、我が子に対する愛情は、皆一様に深いものだと感じました▼後半は助産師さんを講師に迎え、子どもたちと一緒に「いのちの誕生」奇跡の命について学びました。心臓の鼓動を聞き比べたり、恐る恐るでもしっかりと赤ちゃんの人形を抱っこする体験をしたほか「いのちの応援団 父と母」から写真と共に子どもたちへのメッセージを送りました。スライドに映し出された赤ちゃんの頃の写真を見た子どもたちは笑顔であふれ、親たちの中には、涙ぐむ姿もありました▼子どもたちは、楽しみながら命の大切さを学ぶことができたのではないのでしょうか。自分だけでなく、深い愛情を受けていることを忘れずに成長してくれることを願っています。(関連記事23ページ)

## こんにちは 赤ちゃん



令和4年8月生まれ

ふかさわ 深澤 いっしん 一心くん

いっしんくんは…  
すくすく元気に育ってね😊

「こんにちは赤ちゃん」コーナーの写真は随時募集しています。詳しくは総務課広報広聴係(☎72-6901)まで。

## 町の世帯と人口

(2月1日現在・住民基本台帳)()の数字は前月比

・世帯数	10,624世帯 (-16)	出生	5人 (- 8)
・人口	24,225人 (-56)	死亡	56人 (+21)
男	12,063人 (-36)	転入	59人 (+ 9)
女	12,162人 (-20)	転出	64人 (- 5)
		その他	0人

## 広報那須がスマートフォンなどで読むことができます

